

事業概要：Velo-city2027Ehime開催を契機とした自転車新文化推進プロジェクト

継続

申請者	愛媛県ほか 2 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 2 回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	6,347,427千円 （1,598,339千円）
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ Velo-city開催を契機として、シビックプライドの醸成を図りながら、都市政策を絡めた安全で快適な自転車環境づくりを推進する。 ・ Velo-cityや海外向けファムツアー、サイクリングイベントの開催等を通じて、自転車先進県「愛媛」を国内外に情報発信することで、世界中のサイクルツーリズムが盛んな地域からの誘客を促進し、交流人口の拡大による地域の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 自転車施策において世界をリードする欧州の手法を取り入れた「持続可能な都市モビリティ計画（SUMP）」の策定や地域の自転車利用者が自ら自転車活用推進策を検討するワークショップの開催、サイクリングロードにおける交通結節点・中心市街地との接続性や安全性、快適性を向上させる道路等のインフラ整備、周遊性を高める観光スポーツ拠点整備に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・持続可能な都市モビリティ計画（SUMP）策定（委託料）18,000千円 ・若者等によるワークショップ・フィールドワーク開催運営（負担金）2,794千円 ・重信川サイクリングロード利用促進事業（負担金）1,045千円 ・米豪サイクリスト誘客促進強化事業（負担金）7,500千円 ・サイクルシティ(自転車都市×循環型都市)ブランド強化事業（負担金）23,500千円 等 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事（とべ動物園新オランウータン舎）343,000千円 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 252,000千円 サイクリングコースや都市部の走行環境を改善する自転車通行空間の整備 ・都市環境整備事業 20,000千円 河川空間を活用したサイクリング等環境整備 ・都市公園事業 920,000千円 サイクリングコースの周遊性向上やサイクルスポーツ振興に資する施設整備						
主なKPI	①観光消費額（+450億円）②自転車新文化の認知度（+23.7%） ③県内のレンタサイクル利用者数（+21,200件） ④自転車活用推進計画の策定市町数（+5市町） ⑤自転車事故発生件数（▲78件）⑥全国規模の大会等誘致数（+4件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※愛媛県、松山市、今治市の広域連携事業